

多摩イノベーションエコシステム促進事業 リーディングプロジェクト 提案書 < 記載例 >

プロジェクト名：多摩織デザインのシェアサイクルを利用した観光モデルの構築
（観光・レジャー）
代表事業者名：株式会社A社

1. プロジェクトの概要

審査の観点

事業趣旨との合目的性

プロジェクトの背景・目的、取組内容

重点テーマ	観光・レジャー
プロジェクト名	多摩織デザインのシェアサイクルを利用した観光モデルの構築
関連する社会課題	- 現代ではデジタル化・DXの進展により、従来のライフスタイルから大きく変化したことで、多摩地域の歴史・魅力のある伝統工芸が存続の危機になっている。多摩地域にも八王子市を中心として江戸時代から続く「多摩織」があるが、現代において認知度が低い - また、多摩地域の過疎化や人口減少、高齢化により二次交通の整備が遅れていることで、訪れる観光客にとっても利便性が悪い。観光地としても地域経済活性化に向けて観光客を増やす対策が求められている
取組内容 (上記社会課題の 解決策)	- ライフスタイルの変化によって触れる機会が少なく、伝統工芸品の「多摩織」について、昨今二次交通手段として注目を集めているシェアサイクルとコラボレーションを行い、シェアサイクルを利用したツアーイベントの醸成も行うことで、多摩地域の魅力を伝える観光モデルを構築する。これにより、多摩の伝統工芸品の認知度アップと地域として観光地の活性化につなげる。また、シェアサイクルによる観光客への二次交通手段の充実に役立てる - 古来からある織物製造業と最先端のサービス業であるシェアサイクル事業が協業し新たな価値を生み出した事例が創出されることで、多摩地区の歴史ある史跡・伝統工芸等と最先端の技術やサービスの融合によりイノベーションを起こしたパイオニア的事例となり、類似の構成のイノベーション創出への機運が醸成される
本事業で 取り組む理由	「伝統事業×シェアリング事業×イベント事業」は事例がなく、多摩地域発のイノベーションとなり得る - 多摩地域および区部を含めた様々なプレイヤーと連携することで地域課題への取り組みを多摩地域内外へ発信できる - 多摩の伝統工芸品である多摩織の認知向上および多摩領域の二次的交通手段の充実化により、多摩地域が抱える伝統工芸と二次交通の課題解決に繋がり、多摩地域の地域活性化を期待できる

2. ビジネスモデル

審査の観点

新規性・独自性・市場性

社会実装時に想定しているビジネスモデル（「誰に」「何を」）

Sample

ターゲット層 （誰に）

- 多摩地域内を気軽に周遊したいが交通手段がない観光客
現状は観光地と観光地を結ぶ交通手段が不足しているため、多くの多摩地域への観光客が一つの観光地の往復のみにとどまっている。地域観光を気軽に楽しみたい観光客の観点で十分とは言えない
- 二次交通の不足により観光客の呼び込みに課題を抱える伝統工芸品の工房が点在している観光地
現状は伝統工芸品への認知度が低く、伝統工芸品に触れる機会もない。また、二次交通の不足により周辺観光地からの立ち寄りも行われておらず、観光地として地域観光活性化や伝統工芸品の認知度向上の観点で十分とは言えない

サービス内容 （何を）

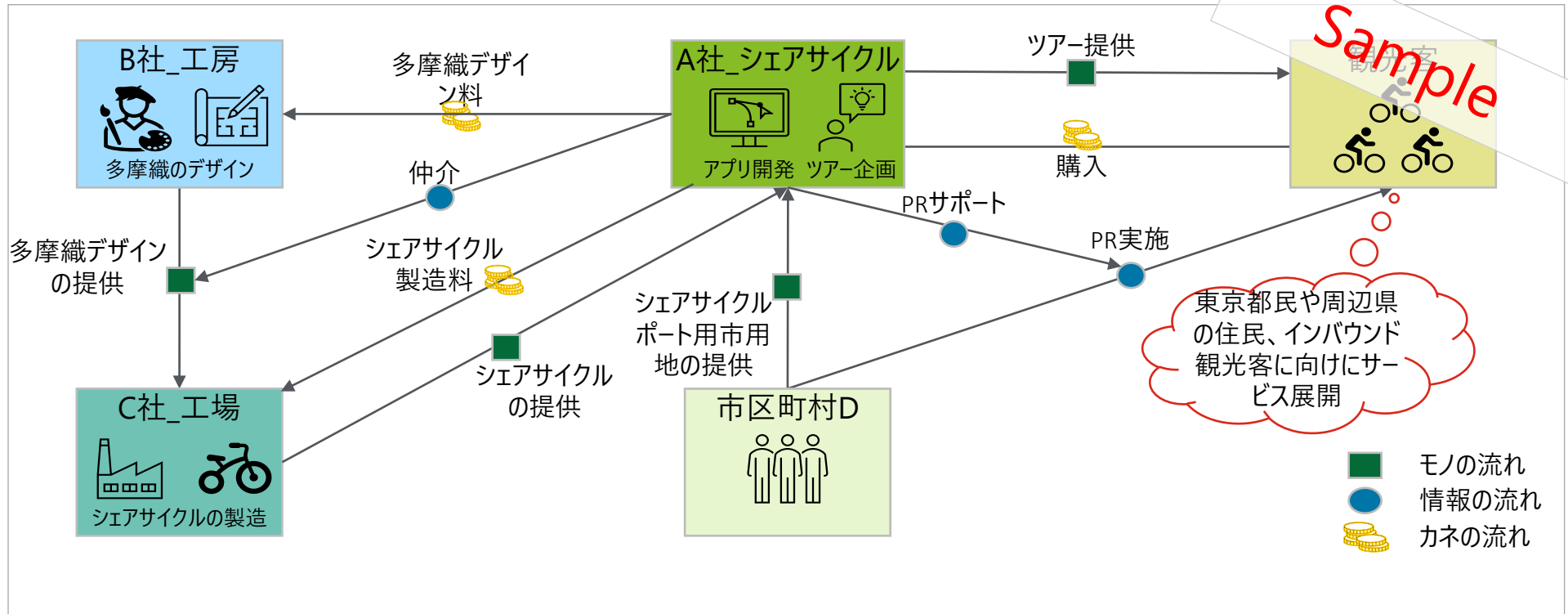
- 多摩織デザインを取り入れたシェアサイクルを利用した、多摩の主要観光スポットや工芸品をめぐる観光ツアーの提供
本サービスにより、観光客へ環境や健康に配慮した二次交通手段・ツアーを提供し、気軽に地域を周遊する機会を提供する。また、多摩織を中心とした多摩地域の伝統工芸品への認知度アップと点在している観光地の周遊により観光地の活性化につなげ、本サービスをインバウンド観光客も踏まえた地域全体への観光客の呼び水とする

2. ビジネスモデル－イメージ図

審査の観点

新規性・独自性・市場性

社会実装時に想定しているビジネスモデルのイメージ図



関連する法規制等・対応方針

- シェアサイクルポートの設置箇所によって異なる法規制が適用される。例えば、駅周辺の歩道（市道）であれば、市区町村Dに加え公安委員会と事前に協議したのち、設置の許可を得る必要がある。既に市区町村Dの担当者と連携済みであり、事業開始後すぐに事前協議を開始することが可能である。市区町村Dと適切な設置場所を選定することで設置許可取得のリードタイムの短縮につながり、検証の開始までに準備を整えることができると考えられる。

3. 市場規模 / 比較優位性

想定する市場規模と比較優位性

市場規模

- **国内・海外観光客数の増加**

国内旅行者、海外からのインバウンドいずれもコロナ禍からの回復傾向となっている。多摩地域の住民だけでなく、東京都民や周辺県の住民、インバウンド観光客に対しても多摩地域への呼び込みを行うことで市場規模の拡大が期待できると言える※1

- **個別手配での観光者数の増加**

海外からの観光客のうち、個別手配での観光者数が増加傾向になっている。当プロジェクトにおいては、大手旅行会社と組むことは想定しておらず、個別手配での観光客にアプローチすることを想定しているため、さらなる市場規模の拡大が期待できる※2

- **シェアサイクルの利用者数の増加**

シェアリング市場自体が近年拡大を続けている。日本の政府によるシェアリングシステム技術の進歩やインフラ整備の積極的な取り組みが行われているため、シェアサイクルはさらなる市場規模の拡大が期待できる※3

(※1-3：関連データは末尾に「参考資料」として記載)

審査の観点

新規性・独自性・市場性

比較優位性

Sample

- **観光客の興味を引くユニークな体験の提供**

「伝統事業×シェアサイクリング事業×イベント事業」という新しい事業は従来の観光ツアーとは異なるユニークな体験を提供でき、シーズを開拓できると考えられる。個人ごとの旅行の自由度が一定程度あることで現代の多様化した旅行方法に対応し、イベントとしての楽しみも得られる。従来の旅行ツアーや単体でのイベント開催に比べて優位性があると考えられる

- **シェアサイクルと観光ツアーの専用アプリの提供**

多摩織デザインを取り入れたシェアサイクルの観光ツアーを利用するにあたり専用のアプリを提供する。観光ツアーの予約からシェアサイクルの利用を1つの専用のアプリで可能にすることで、他にはないサービスを提供することができ、優位性が期待できると言える

- **本チームの総合力による独自性・優位性**

歴史的な伝統産業工房でありながら、現代にフィットしたB社の工芸デザインは他社に真似できない強みがある。数々のオリジナル企画を行っているA社・特注デザインを製造可能なC社と座組を組んで本プロジェクトを実施することで、デザインから情報発信・顧客への価値提供まで一気通貫で行うことができる

4. 検証内容－試作品・プロトタイプ

審査の観点

検証の有効性
実現可能性

検証に用いる試作品・プロトタイプ

試作品・プロトタイプ

Sample

- ・事前にSTEP1,2は完了済みである
- ・多摩織デザインのシェアサイクルのプロトタイプの製造とシェアサイクルの専用アプリの開発は完了しているため、本検証では**STEP3の「①観光ツアーの企画」「②専用アプリの調整」「③デモンストレーションの実施」を行う**

【全体のイメージ】



【プロトタイプ】

〈専用アプリ〉



- ・検証参加者がツアー予約、シェアサイクルの搭乗の際に利用予定
- ・現状シェアサイクル利用に必要なアプリ（プロトタイプ）は一般公開済
- ・検証では、アプリ側からイベント連携・周知可能な機能を開発・実装予定

〈シェアサイクル〉



- ・検証参加者がデモンストレーションツアーで搭乗予定
- ・現状のサービスにおいて、アプリから利用可能なシェアサイクルは開発・配備済
- ・検証では、多摩織デザインのシェアサイクルを開発・配備予定

目指す姿

多摩地域での検証を基にした
新規観光モデルの社会実装

4. 検証内容－目的・全体像・場所

審査の観点

検証の有効性
実現可能性

検証の目的・全体像・検証場所

Sample

検証の目的

- ・ アプリをデモンストレーションで実際に活用してもらい、機能・UI・UX等について仕様を確定させること
- ・ ツアーの訪問場所とルートについて、ターゲットごとに確定させること
- ・ 本格的な社会実装に向けた拡販チャネルの候補を選定すること

検証の全体像

①観光ツアーの企画

A社



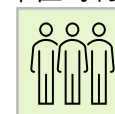
ツアー場所、
スケジュール、
料金等を検討

B社(工房)



織物体験プロ
グラムの企画

市区町村D



観光ツアーの
PR方法を検討

②-A専用アプリの調整

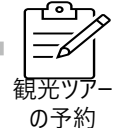
A社



シェアサイクルの予約、
観光ツアー予約を
可能とするアプリの調整



シェアサイクル
の予約



観光ツアー
の予約



シェアサイクルの
アプリ開発

②シェアサイクルの設計・製造

B社(工房)



多摩織
デザインの作成

C社(工場)



特注シェア
サイクルを
製造

③デモンストレーションの実施

- <観光ツアーイメージ>
- 多摩織工房（D市）
 - 多摩織の手織り体験
 - 桜が有名な〇〇公園
 - 八王子ラーメンの名店

多摩地域への観光客



デモンストレーションに
参加いただき、
後日アンケート
の収集を実施

検証場所

- ・ 多摩織工房、公園、八王子ラーメンの名店（D市）：ツアー訪問先
- ・ D市X駅周辺の市道：シェアサイクルポート設置場所

4. 検証内容－詳細

実施する検証項目・方法、阻害要因・リスク

検証項目	検証・評価方法
<観光客のニーズを捉えているかの観点> 観光客が求めるサービス内容を提供できているか	・ デモンストレーションの参加者に対して、サービスの満足度調査を把握するために、アンケート・ヒアリングで評価する
<適切なソリューションを提供できているかの観点> 専用アプリにより観光客は滞りなく予約できているか	・ デモンストレーションの参加者に対して、専用アプリの利便性や満足度を把握するために、アンケート・ヒアリングで評価する
<観光客を集客できているかの観点> 適切なPRにより観光客を集客できているか	・ デモンストレーションの参加者に対して、情報の取得経路を把握するために、アンケート・ヒアリングで評価する
<事業継続の利益を確保できるかの観点> 多摩織デザインのシェアサイクルを利用した観光ツアーは利益を確保できているか	・ デモンストレーションの参加者に対して、コストの妥当性を把握するために、アンケート・ヒアリングで評価する

阻害要因・リスク

<法的な観点> 多摩織デザインのシェアサイクルの特許や商標登録が長引き検証を開始できないリスク

- 製品開発やデザインの段階で、関連する特許や商標の調査を行い、製品が既存の知的財産権を侵害しないか確認する
その上で専門家や法律事務所に依頼し、開発した製品やデザインに関する特許や商標を登録する

<開発トラブルの観点> シェアサイクルの製造やアプリの実装が間に合わず検証が遅れるリスク

- シェアサイクルと観光ツアーの専用アプリの開発が間に合わない等により、デモンストレーションスケジュールがタイトになる場合に備え、関係者や周辺住民にも初期段階から声掛けを実施しておき、デモンストレーションをスムーズに実施する環境を整備する

<合意形成の観点> 市区町村Dと観光ツアー場所や設置場所の最終調整が長引いてしまい検証できないリスク

- 事前に市区町村Dと詳細な日程や実施事項を認識合わせすることで、観光ツアー場所と設置場所に対する合意形成を行う
阻害要因が発生した場合でも個別に説明会を実施するなどバックアッププランを整備する

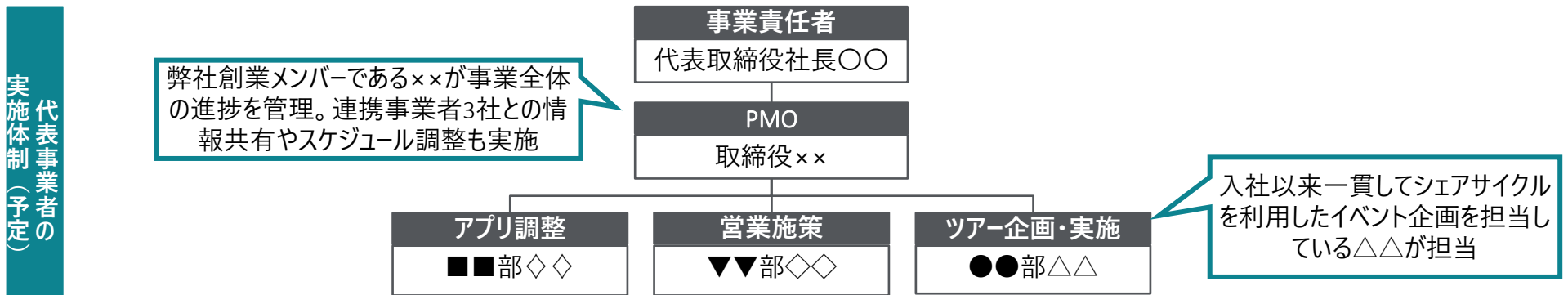
5. 体制

審査の観点

実現可能性

参画する各プレイヤーの役割

連携事業者との役割分担	プレイヤー	想定される役割	得意とする技術・能力等	類似の事業経験
	【代表事業者】 A社 (SU/多摩)	- シェアサイクルポートの増設 - シェアサイクルの運用 - サイクルツアーの企画・事務局	- シェアサイクル事業拡大のための営業力 - IT系プラットフォームの運用体制	自治体イベントへの協力経験
	B社_工房 (中小/多摩) 連携調整済	- 多摩織を元にしたシェアサイクルにて使用する自転車のデザイン - 周遊イベントへの参画	- 伝統的な多摩織の製造 - タオル等日用品への多摩織調のデザイン	伝統工芸デザインのタオル、バッグ等へのデザインのみの提供
	C社_工場 (中小/区部) 連携調整済	B社デザインを元にしたシェアサイクルにて使用する自転車の製造・加工	電動自転車の製造（組立、塗装）	小ロットの特注デザインの電動自動車の製造
	D市 (自治体/多摩) 連携調整済	- 周遊イベントへの市所有施設の使用許可 - シェアサイクルポート設置場所・設置申請に関する情報の提供	- 史跡を所有 - 駅周辺の歩道（市道）を活用するための公安委員会との協議の経験	旅行会社等への市所有施設の利用許可



6. 検証スケジュール

審査の観点

実現可能性

1年目スケジュール・タスク

業務内容	2025年						2026年	
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標				中間報告			最終報告	
STEP1_計画	目的・ゴールの合意							
		観光場所の調査						
		専用アプリの設計						
		プロトタイプ的设计						
STEP2_準備		観光場所の調整						
		専用アプリの開発						
		プロトタイプの製造						
		PRの準備						
STEP3_実行		観光ツアーの企画						
		専用アプリの調整						
		PR実施						
		デモンストレーション実施						
		アンケートの準備		アンケートの実施		アンケートの分析		
取りまとめ						成果とりまとめ		

※あくまで作成例であり、公開情報を基に作成したイメージ

7. 社会実装に向けた取組のスケジュール

審査の観点

実現可能性

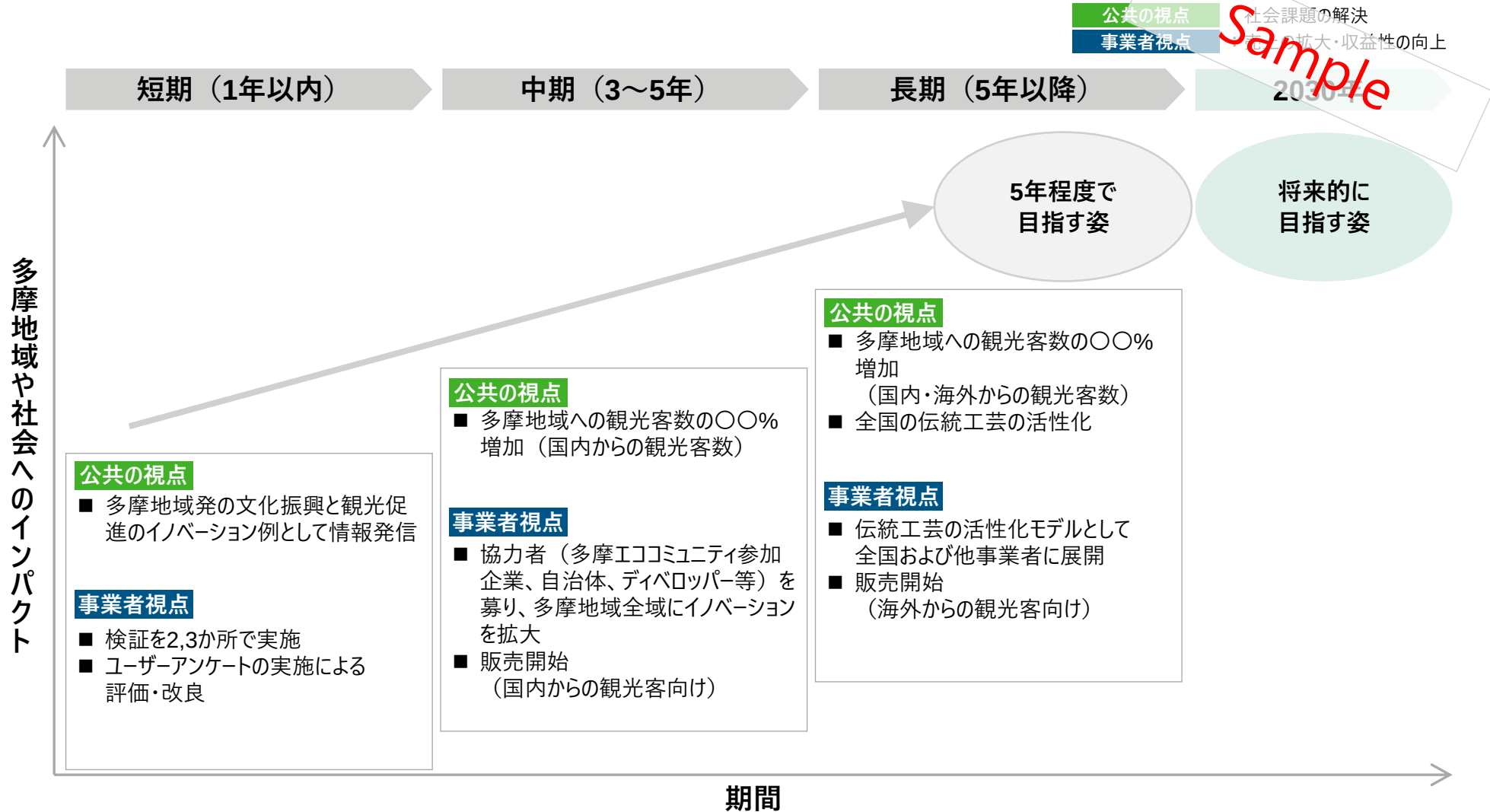
2年目・3年目スケジュール・タスク

取組内容	2026年				2027年			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
顧客獲得 に向けた課題への対応	国内向け拡販チャネルの確定		広告代理店等のチャネルを使った営業活動					
製品・サービスの普及に に向けた課題への対応					外国語版アプリの開発			
製品・サービスの実用化 に向けた課題への対応	多摩地区他自治体とイベントの拡大実施に向けた交渉			多摩地区他自治体と サイクルポート設置や施設利用準備		多摩地区他自治体での 実施領域の拡大		
資金調達に向けた課題 への対応				資金調達必要性・資金調達方法の検討		資金調達先の確定		
その他の課題への対応			環境影響等社会貢献度の可視化					

※あくまで作成例であり、公開情報を基に作成したイメージ

8. プロジェクトの目指す姿

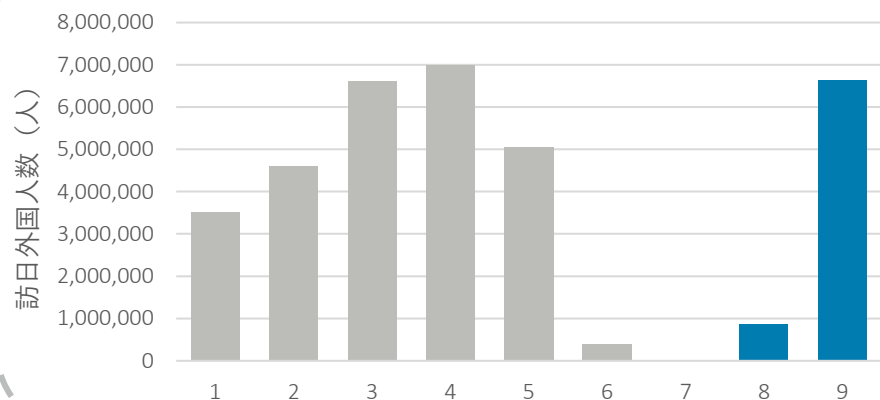
将来における多摩地域や社会へのインパクト、中長期に目指す姿



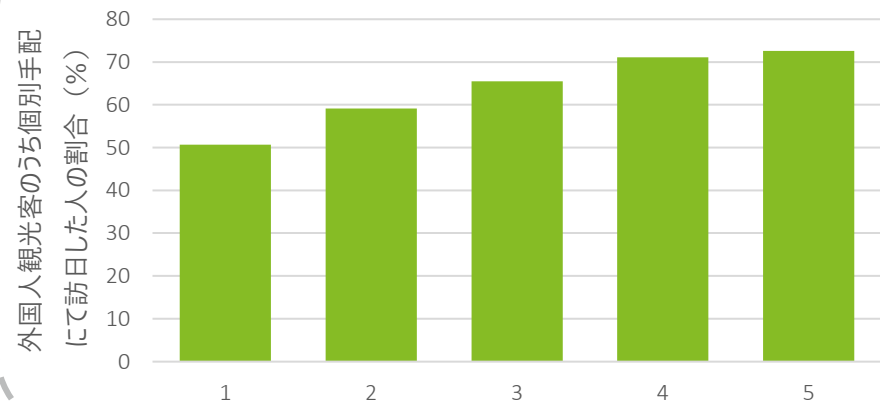
参考資料

プロジェクト概要の根拠となるデータや用いる技術の概念図等を自由様式で記載

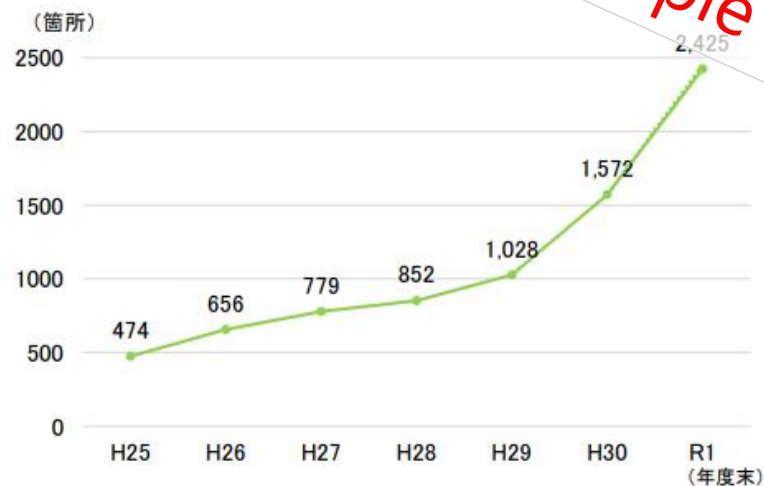
①外国人観光客数の推移



②外国人観光客のうち個別手配をして訪日した人の割合の推移



③ポート設置数の推移



※R2年3月末時点
※本格導入と回答した都市の合計数

※あくまで作成例であり、公開情報を基に作成したイメージ

出所：

①②JETRO (<https://statistics.jetro.go.jp/graph/>)

③国土交通省 (<https://www.mlit.go.jp/toshi/content/001390576.pdf>)